

佐賀県鹿島市

Press release



報道機関 各位

部課名 政策総務部DX推進室

件 名	新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）に採択されました！ 鹿島市でD Xが加速します！
アピールポイント	このたび、令和7年度に予定しているD X推進の新たな取組について、内閣府が実施する「新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）」へ申請を行ったところ、2つの事業が採択されました。 今後、本市ではD Xの取組を更に加速させ、地域課題の解決、市民の暮らしの変革及び行政サービスの充実を実現する取組を進めてまいります。
説 明	1. 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）とは デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する地方公共団体の取組を支援する交付金 2. 採択事業 (1)事業名：庁舎内証明書交付サービス事業 ～第2弾「行かない・書かない・待たない」人に優しい役所づくり～ 事業費：9,418千円（うち、採択額（国費）4,709千円） 内 容：別紙のとおり（令和7年10月サービス開始予定） (2)事業名：漏水調査業務のD X事業 事業費：9,174千円（うち、採択額（国費）4,587千円） 内 容：別紙のとおり
別添資料	☒ あり ☐ なし



2024年は鹿島市制施行70周年

鹿島市公式アカウント
てのひら市役所

いますぐ友だち追加！

本件に関する問合せ先

所属	政策総務部D X 推進室
氏名	三ヶ島 正和
TEL	0954-68-0140
FAX	0954-63-2129
Mail	jouhou@city.saga-kashima.lg.jp

事業概要【庁舎内証明書交付サービス事業 ～第2弾「行かない・書かない・待たない」人に優しい役所づくり～】

自治体名	佐賀県鹿島市	人口	27,250人	事業費	9,418千円
事業概要	住民が庁舎内で住民票の写し等を取得する際、紙申請しかできないため、記入負担が大きく、待ち時間も多く発生している。そこで、マイナンバーカードを利用し、住民票の写しや印鑑登録証明などの証明書が交付可能な「行政キオスク端末」を庁舎内に導入することにより、住民の申請書への記入負担軽減、待ち時間短縮および窓口混雑の緩和に繋げる。また、住民に端末使用を経験してもらうことで、デジタル化への苦手意識の解消を図り、コンビニ交付率の向上とDXの普及推進に繋げる。				
具体サービス	【証明書交付サービス】 ○マイナンバーカードを活用することで、住民が自身で証明書を発行することができるため、申請書の記入が不要となるほか、証明書発行までの待ち時間短縮を図ることができる。 ○コンビニで証明書の発行が可能であることを広く認識してもらい、コンビニ交付の普及に繋げる。 ○庁内設置のキオスク端末を使用して使い方の案内や活用メリットのPRを行う。 ○キオスク端末の利用を促すことで、窓口申請の数を減らし、窓口混雑の緩和に繋げる。 【対象手続】 ○住民票の写し ○印鑑登録証明書 ○所得（課税）証明書 など 市役所  書かなくてよい！ マイナンバーカードで自動発行！ 住民票の写しを取得したい ラクに取得♪ 待ち時間短縮♪ 使い方を覚えて次からは市役所へ行かずコンビニへ				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①庁内設置のキオスク端末の証明書発行件数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①窓口滞在時間の削減 ②庁内設置のキオスク端末の利用者満足度				

事業概要【漏水調査業務のDX事業】

自治体名	佐賀県鹿島市	人口	27,250人	事業費	9,174千円
事業概要	衛星画像解析を行い、絞り込まれた水道管の漏水疑いエリアを調査する。その後もデジタルアプリケーション（ASTERRAに付帯する漏水調査支援ツール）を継続利用・活用することにより、当市の漏水調査業務のDX化を推進する。従来手法に代わり、漏水箇所をデジタル管理する手法に転換/定着させることで、調査結果をデジタルアプリ上でタイムリーかつワンストップにて伝達することができ、迅速な修繕/更新につなげる。それにより断水等の住民影響を減らし、水道水の安定供給に努めるとともに有収率の改善を図り、将来の料金値上げを抑制し、住民にとっての安心安全な街づくりを目指す。				
具体サービス	【衛星画像解析による広域漏水検知(ASTERRA)】 ✓衛星からLバンドマイクロ波を発信し撮影される画像を解析、土壌と混ざった上水特有の反射特性を検出、半径100m範囲で漏水疑い箇所を特定。 ✓解析にあたり、設備投資を含む機器設置等は不要、天候や昼夜に関わらず、市域全体を約3ヵ月で解析、これまで全域調査を行っていた漏水調査範囲を従来の約10-20%程度に絞り込むことが可能であることから、漏水調査期間の短縮、コストの削減や漏水発見数の最大化が見込める。 【デジタルアプリケーション（漏水調査支援ツール）を活用した漏水調査、修繕活動による予防保全の強化】 ✓ASTERRAに付帯するアプリケーションにより前述の各漏水疑いエリアにおける漏水調査状況や修繕記録を一括でデジタル管理、集計可能。 ✓ASTERRA及び漏水調査により得られた集計データを管路更新耐震化等の優先順位付け等にも活用が可能。 ✓衛星画像解析により得た漏水検知結果や事業者から提供されるアプリケーションについては、その後も継続利用し、毎年の漏水調査や修繕記録等に活用することを定着させ、漏水調査事業のDX化を推進していく。		 出典：東亜グラウト工業株式会社公式HP ■ アプリ画面イメージ  ■ 管理画面イメージ 		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 解析結果を基にした漏水調査実施延長の削減距離 ② 漏水調査1kmあたりの漏水発見件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ① 有収率 ② 市民からの満足度		